



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

東

上場会社名 松本油脂製薬株式会社

上場取引所

コード番号 4365

URL <https://www.mtmtys.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 木村 直樹

問合せ先責任者（役職名） 管理本部副本部長（氏名） 平野 憲弘

TEL 072-991-1001

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	19,925	△10.6	3,606	△29.2	4,409	△1.7	3,533	10.6
2025年3月期中間期	22,288	5.3	5,090	12.5	4,484	△24.7	3,195	△23.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 4,510百万円（37.5%） 2025年3月期中間期 3,280百万円（△42.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	1,217.85	—
2025年3月期中間期	1,101.33	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	98,068	84,695	84.3
2025年3月期	95,189	81,367	83.4

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 82,705百万円 2025年3月期 79,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	400.00	400.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	400.00	400.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	41,242	△4.4	7,892	△15.0	7,808	△19.3	5,388	△21.1
								1,857.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	4,512,651株	2025年3月期	4,512,651株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,611,391株	2025年3月期	1,611,391株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	2,901,260株	2025年3月期中間期	2,901,380株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類4ページ「1. 経営成績等の概況」

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策の影響により自動車産業を中心に企業収益の改善に足踏みがみられるほか、今後の政策動向の不確実性に伴う景気の下振れリスク、ウクライナ及び中東情勢の長期化といった地政学リスクの継続、外国為替相場の変動や原材料価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループとしましては、世界的な経済環境の不安定さと変動リスクの長期化を踏まえ、引き続き高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、新規顧客・用途開拓活動の推進により収益の維持・向上を進めているところであります。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高19,925百万円（前年同期比10.6%減）、営業利益3,606百万円（前年同期比29.2%減）、経常利益4,409百万円（前年同期比1.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益3,533百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

① 日本

日本における当中間連結会計期間の外部顧客に対する売上高は18,797百万円（前年同期比10.3%減）、セグメント利益（営業利益）は3,521百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野につきましては、海外向けは総じて低調でした。国内繊維向けも好調であったユニフォームの生産が一段落し、自動車産業向けも一部減少したため、前年をやや下回る結果になりました。この結果、外部顧客に対する売上高は1,770百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

非イオン界面活性剤の分野につきましては、海外向けは総じて低調でした。国内繊維向けはユーザーの生産体制再編もあり、全体的に縮小傾向となり、トイレタリー向けも低調に推移しました。この結果、外部顧客に対する売上高は11,320百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野につきましては、国内繊維向け及び家庭用洗剤向けは堅調に推移しましたが、海外向けは低調に推移しました。この結果、外部顧客に対する売上高は380百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

高分子・無機製品等の分野につきましては、海外向けは総じて低調でした。国内繊維向けもユーザーの廃業や衣料用途の低迷で前年を下回りました。また、非繊維工業関連についても自動車部品、香粧品、樹脂成形分野等の低調が続き、前年同期を下回る販売となりました。この結果、外部顧客に対する売上高は5,324百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

② アジア

アジアにおける当中間連結会計期間の外部顧客に対する売上高は1,128百万円（前年同期比15.6%減）、セグメント利益（営業利益）は87百万円（前年同期比44.1%減）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野につきましては、繊維市況の低迷により加工剤の販売は低迷している中、輸出向け加工剤の受注が増加したため、外部顧客に対する売上高は4百万円（前年同期比36.2%増）となりました。

非イオン界面活性剤の分野につきましては、中東へのトープ生地向けの受注が堅調ではありましたが、3月に発生したインドネシアの洪水被害を受けた顧客が一部の繊維油剤の発注を停止した影響もあり、外部顧客に対する売上高は201百万円（前年同期比27.5%減）となりました。

陽・両イオン界面活性剤の分野につきましては、繊維市況の低迷により柔軟剤関係が低調であったため、外部顧客に対する売上高は0百万円（前年同期比80.0%減）となりました。

高分子・無機製品等の分野につきましては、各国内における織物生産、販売が安価輸入品の影響で低迷しており、その対策として新規顧客への拡販を進めましたが、既存顧客からの受注減少を補うには至らず、外部顧客に対する売上高は921百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比2,879百万円（3.0％）増加して、98,068百万円となりました。流動資産は前期末比1,771百万円（2.7％）増加の67,892百万円、固定資産は前期末比1,107百万円（3.8％）増加の30,175百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、原材料及び貯蔵品が93百万円、商品及び製品が89百万円減少した一方、現金及び預金が1,691百万円、受取手形及び売掛金が162百万円前期末より増加したことによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、機械装置及び運搬具（純額）が218百万円減少した一方、投資有価証券が1,399百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債の合計は、前期末比448百万円（3.2％）減少の13,373百万円となりました。流動負債は、前期末比946百万円（8.6％）減少の10,071百万円、固定負債は前期末比497百万円（17.7％）増加の3,301百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、未払法人税等が77百万円増加した一方、買掛金が727百万円、賞与引当金が217百万円前期末より減少したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債が509百万円、その他が1百万円前期末より増加したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前期末比3,328百万円（4.1％）増加して84,695百万円となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金が配当金の支払により1,160百万円減少の一方、当中間連結会計期間における親会社株主に帰属する中間純利益の計上により3,533百万円増加したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の83.4％から84.3％となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて、1,691百万円増加（前年同期は7,013百万円の減少）し、34,523百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは2,422百万円の現金及び現金同等物の増加（前年同期は3,330百万円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益4,985百万円、減価償却費515百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,256百万円、仕入債務の減少額720百万円、投資有価証券売却益624百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは362百万円の現金及び現金同等物の増加（前年同期は8,690百万円の減少）となりました。

収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入1,149百万円、定期預金の払戻による収入510百万円、投資有価証券の償還による収入58百万円であり、支出の主な内訳は、投資有価証券の取得による支出629百万円、定期預金の預入による支出510百万円、有形固定資産の取得による支出209百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは1,155百万円の現金及び現金同等物の減少（前年同期は1,141百万円の減少）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額1,132百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、現時点において2025年8月8日に公表の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,037	33,729
受取手形及び売掛金	9,187	9,350
電子記録債権	372	354
有価証券	17,000	17,001
商品及び製品	3,293	3,203
仕掛品	837	948
原材料及び貯蔵品	1,770	1,677
その他	1,630	1,635
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	66,121	67,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,373	9,354
減価償却累計額	△6,689	△6,753
建物及び構築物（純額）	2,684	2,601
機械装置及び運搬具	16,907	17,062
減価償却累計額	△14,062	△14,435
機械装置及び運搬具（純額）	2,845	2,626
土地	1,639	1,646
建設仮勘定	36	27
その他	1,608	1,614
減価償却累計額	△1,425	△1,443
その他（純額）	182	171
有形固定資産合計	7,388	7,073
無形固定資産		
その他	11	11
無形固定資産合計	11	11
投資その他の資産		
投資有価証券	20,707	22,107
繰延税金資産	7	6
その他	957	980
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	21,668	23,091
固定資産合計	29,068	30,175
資産合計	95,189	98,068

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,244	7,516
未払法人税等	1,283	1,361
賞与引当金	334	117
その他	1,154	1,075
流動負債合計	11,018	10,071
固定負債		
退職給付に係る負債	1,007	993
資産除去債務	120	120
繰延税金負債	1,597	2,107
その他	79	80
固定負債合計	2,804	3,301
負債合計	13,822	13,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,612	6,612
利益剰余金	74,323	76,696
自己株式	△12,133	△12,133
株主資本合計	74,892	77,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,479	5,387
為替換算調整勘定	27	49
退職給付に係る調整累計額	4	2
その他の包括利益累計額合計	4,511	5,440
非支配株主持分	1,963	1,989
純資産合計	81,367	84,695
負債純資産合計	95,189	98,068

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	22,288	19,925
売上原価	14,934	14,216
売上総利益	7,353	5,709
販売費及び一般管理費	2,262	2,102
営業利益	5,090	3,606
営業外収益		
受取利息	22	164
受取配当金	166	269
持分法による投資利益	77	69
為替差益	-	95
その他	90	224
営業外収益合計	355	822
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	3	5
為替差損	926	-
投資事業組合運用損	-	4
その他	31	10
営業外費用合計	961	20
経常利益	4,484	4,409
特別利益		
固定資産売却益	79	-
投資有価証券売却益	-	624
特別利益合計	79	624
特別損失		
固定資産除却損	0	5
投資有価証券評価損	32	41
特別損失合計	33	47
税金等調整前中間純利益	4,531	4,985
法人税、住民税及び事業税	1,187	1,335
法人税等調整額	86	92
法人税等合計	1,274	1,427
中間純利益	3,256	3,557
非支配株主に帰属する中間純利益	61	24
親会社株主に帰属する中間純利益	3,195	3,533

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	3,256	3,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△247	908
為替換算調整勘定	273	45
退職給付に係る調整額	△1	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	23	952
中間包括利益	3,280	4,510
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,091	4,461
非支配株主に係る中間包括利益	188	48

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,531	4,985
減価償却費	522	515
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	-
受取利息及び受取配当金	△188	△433
支払利息	0	0
為替差損益 (△は益)	709	△23
持分法による投資損益 (△は益)	△71	△69
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,009	△157
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△49	56
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,056	△720
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△210	△217
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11	△14
固定資産除売却損益 (△は益)	△79	5
その他の営業外損益 (△は益)	△19	4
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△81	△13
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△41	△6
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△254	△71
投資有価証券評価損益 (△は益)	32	41
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△624
小計	4,829	3,258
利息及び配当金の受取額	188	420
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,687	△1,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,330	2,422

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△907	△209
有形固定資産の売却による収入	99	-
有価証券の取得による支出	△1,988	△1
投資有価証券の取得による支出	△6,034	△629
投資有価証券の売却による収入	-	1,149
投資有価証券の償還による収入	157	58
無形固定資産の取得による支出	-	△0
定期預金の預入による支出	△510	△510
定期預金の払戻による収入	510	510
長期貸付けによる支出	△0	△1
保険積立金の積立による支出	△10	△37
保険積立金の解約による収入	10	29
その他	△18	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,690	362
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1	-
配当金の支払額	△1,132	△1,132
非支配株主への配当金の支払額	△6	△21
リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,141	△1,155
現金及び現金同等物に係る換算差額	△512	62
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,013	1,691
現金及び現金同等物の期首残高	35,549	32,832
現金及び現金同等物の中間期末残高	28,535	34,523

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	アジア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	1,940	3	1,943
非イオン界面活性剤	12,608	278	12,887
陽・両性イオン界面活性剤	395	3	399
高分子・無機製品等	6,006	1,051	7,058
顧客との契約から生じる収益	20,951	1,337	22,288
外部顧客への売上高	20,951	1,337	22,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	277	4	282
計	21,228	1,341	22,570
セグメント利益	4,948	157	5,105

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,105
棚卸資産の調整額等	△14
中間連結損益計算書の営業利益	5,090

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	アジア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	1,770	4	1,775
非イオン界面活性剤	11,320	201	11,522
陽・両性イオン界面活性剤	380	0	381
高分子・無機製品等	5,324	921	6,246
顧客との契約から生じる収益	18,797	1,128	19,925
外部顧客への売上高	18,797	1,128	19,925
セグメント間の内部売上高 又は振替高	130	—	130
計	18,927	1,128	20,056
セグメント利益	3,521	87	3,609

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,609
棚卸資産の調整額等	△2
中間連結損益計算書の営業利益	3,606